

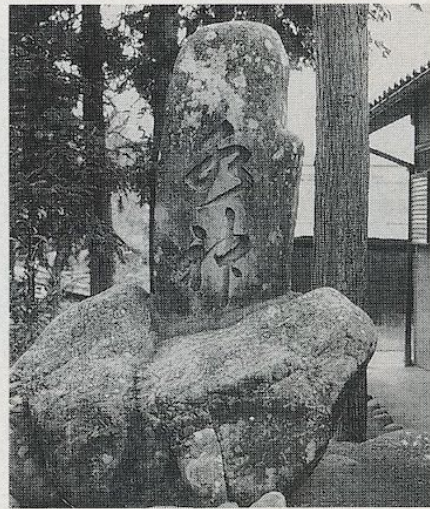
## 川とともに生きる (7)

川へ入るときは必ず「水神さま」にお参りしてから……。

川に面した地域には集落ごとに水神が祀られることが多く、川にたずさわる人たちにとって、日常生活のなかでの心のよりどころとなっていました。眼前を流れる、川という大自然に対する畏敬の念と、水難を防ぐための共同祈願の象徴でした。

左は、川合町の八幡神社にある常夜燈を兼ねた水神です。嘉永七年（一八五四）に「船持中」によって建てられたものでかつては木曾川の水際にあつたと伝えられています。

右下は、深田町の深田神社に建てられている水神で、自然石に深く文字が掘り込まれています。建立された二年前、明治三十九年には、深田の全戸が浸水



した大洪水がおきています。

毎年一月には祭礼が行われ、安全祈願の後「餅投げ」が行われます。

今回、次の方々から貴重な資料を市教育委員会に寄贈いただきました。ありがとうございます。

## ●ひな人形 二点

（日比野正人さん／太田町）

## ●明治期の地図、教科書、ランプなど 五十点

（渡辺延昭さん／太田町）

## ●養蚕用具 三点

（藤木登さん／野笹町）

## ●バンドコ 一点

（渡辺勝次さん／川合町）

## ●小型長持、朱塗り高下駄など 六点

（大沢功さん／太田町）

近い将来の博物館建設に向けて情報や資料を集めていますので、市社会教育課（内線三六一）までご連絡ください。